

ニプロシリンジ(ローデッドタイプ)の増産ならびに ニプロ VA シリンジ承認事項一部変更承認取得および生産準備開始のお知らせ

ニプロ株式会社(本社:大阪市北区、代表取締役社長:佐野 嘉彦、以下「当社」)は、このたびニプロシリンジ(ローデッドタイプ)の製造ライン強化による増産体制が整い、2021年度に約5,000万本の生産が可能となりましたことを、お知らせいたします。

また、2021年3月25日付にて、より残液量の少ないワクチン接種用シリンジ(製品名:ニプロ VA シリンジ)の承認事項一部変更承認を取得しましたことも、あわせてお知らせいたします。当製品は、新型コロナウイルスワクチンの接種に伴うシリンジ需要に応じて開発したものです。現在、ファイザー株式会社(以下、「ファイザー社」)製新型コロナウイルスワクチンの接種は、筋肉注射を前提とされていることから、筋肉に確実に届くよう、針長を25mmとし、また、薬液吸引および注入時の操作性等を考慮して、外径を25G(0.5mm)としています。薬液の残るシリンジ先端部分(デッドスペース)は、従来型通常シリンジの約15分の1(約0.002mL)程度であり、当社社内検証において、ファイザー社製新型コロナウイルスワクチン1瓶から7回分の薬液が採取可能なことを確認しております。まずは、当社大館工場(秋田県大館市)にて、本年5月より生産を開始する予定です。さらにタイ工場(ニプロタイランドコーポレーション)でも製造できるよう承認事項一部変更承認申請を行う予定であり、2021年度生産数量約5,000万本程度を見込んでおります。

これら生産体制の確立により、今年度におけるニプロシリンジ(ローデッドタイプ)と新型ニプロ VA シリンジの生産数量は、合計約1億本となる見込みです。

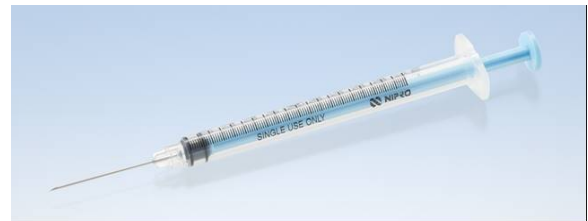
ニプロシリンジ(ローデッドタイプ)



- ガasket先端を突起型にすることでローデッド化を実現
- あらゆる太さ、長さの針を装着可能

製造販売:ニプロ株式会社
クラス分類:クラス I (一般医療機器)
医療機器届出番号:27B1X00045000133

ニプロ VA シリンジ(新型)



- 針と外筒を一体型にすることでローデッド化を実現
- 筋肉に確実に届く長さ25mm、薬液吸引注入時の操作性に配慮した太さ25Gの針を採用

製造販売:ニプロ株式会社
クラス分類:クラス II (管理医療機器)
医療機器承認番号:22500BZX00511000

ニプロは今後とも、全社一丸となって、患者さまの QOL(Quality of life)の向上はもちろんのこと、より安全で、医療ニーズに応えられる製品の開発、提供に努めてまいります。

お問い合わせ先

リリースの内容に関するご照会: 広報担当

TEL 06-6375-6700

本製品に関するご照会: ホスピタルケア商品開発・技術営業部

TEL 06-6373-0563

※受付時間:9時~17時45分(土・日・祝日・弊社休業日を除く)